



大平實は昭和25年（1950年）新潟県黒川村（現胎内市黒川）生まれ。黒川小学校、黒川中学校卒業（昭和41年）。金沢美術工芸大学を昭和50年（1975年）卒業し、昭和52年（1977年）東京藝術大学大学院に進み修士課程を修了します。

昭和54年（1979年）メキシコに渡り、国立美術学校エスメラルダ校に在籍し3年間石版画を学びます。メキシコでマヤやアステカの古代文明に強く惹かれたことは、その後の大平の制作に影響を与えたといえます。

昭和57年（1982年）にアメリカ・ロサンゼルスに移り作家活動を始め、その独創性が、アメリカ現代美術界で認められます。美術はどのような素材、方法によっても成立するという考えから、身の回りに打ち捨てられた廃材に目をつけ、建築部材や家具に使われていた木端を再生し美術作品として蘇らせていきます。

「彫刻とは自然に即しての生命への賛歌であり、時とともに変化していく自分、その時々の感情移入が材質に結晶化したものだ」と大平は語ります。

日本に生まれ、世界各地の生活体験や異文化と、近代的彫刻理論を交差させながら、際立ったオリジナルティを発揮し、今も世界中で芸術活動を行っています。



胎内彫刻美術館（熱田坂）平成16年開館